

# 風 山 (現場) から

宮田守男



大人気のコミックエッセイ、「山」を通して成長する「鈴木みき」さんに「本」で出合ってみませんか

山岳観光の関係者から「鈴木みき知ってる」と尋ねられる。答えて「ちゅうちょして」ると、「山岳雑誌で人気のある、白尾の山小屋でアルバイトしていた」と質問が続く。知

らなかつた事が残念な顔の表情が暗くなる。気になり、松本市の大型書店で本を探すと、イラストレーターと聞いていたので、コミック関係の書棚を探すが見当たらず、本検査で照会すると、地図コーナーの情報。多くの書棚の中から「敏んだと

## 地域の情報を共有して、新しい観光資源の創造について考えてみませんか

「私の場合は山で」の3冊を購入した。内容に目を通すと、確かに山岳雑誌で「さんご舎め、有登山家」に比べ、経験も知識も少ない素人に近い女性の皆さんの目標で描られる喜びや感動、描き出される魅力が、現在の登山ブームを創り出しているのだろう。本の内容の面白さに3冊一気に読んでしま

た事が分かる。1972年東京生まれ。カナダへの旅をきっかけに山と出会い、登山を始め、初心者目線による女子登山の面白さを次々と書籍などに発表。近年の女子登山ブームの火付け役として活躍する「鈴木みき」の内容が、現代社会に

「世界を身近にさせる。一人歩きは危険、単独行を戒める山の世界に、「ひびく登山」と表現して、ひびく登山に行き理用、ひびく山に行き理用」に注意しなければならぬことなど解りやすく解説した内容が、現代社会に

「山」を毎日見ている私たちが、「山」にどの様に接しているのでしょうか。読んでみて、どの様に感じましたか。

「山」を毎日見ている私たちが、「山」にどの様に接しているのでしょうか。読んでみて、どの様に感じましたか。

「山」を毎日見ている私たちが、「山」にどの様に接しているのでしょうか。読んでみて、どの様に感じましたか。

「山」を毎日見ている私たちが、「山」にどの様に接しているのでしょうか。読んでみて、どの様に感じましたか。

「山」を毎日見ている私たちが、「山」にどの様に接しているのでしょうか。読んでみて、どの様に感じましたか。

「山」を毎日見ている私たちが、「山」にどの様に接しているのでしょうか。読んでみて、どの様に感じましたか。

「山」を毎日見ている私たちが、「山」にどの様に接しているのでしょうか。読んでみて、どの様に感じましたか。

「山」を毎日見ている私たちが、「山」にどの様に接しているのでしょうか。読んでみて、どの様に感じましたか。

「山」を毎日見ている私たちが、「山」にどの様に接しているのでしょうか。読んでみて、どの様に感じましたか。

木みきさんと、地域が、連携した取り組みが、できないかと、夢をくちまいた本と出合えた日でもありました。(NPO法人信州地域社会・ニューラム理事・白尾村森上)